



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日
東

上場会社名 NCホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 6236 URL https://www.nc-hd.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶原 浩規
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 村田 秀和 (TEL) 03-6859-4611
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,522	3.5	412	307.4	497	232.9	317	223.4
2019年3月期第3四半期	8,236	2.7	101	△62.9	149	△63.1	98	△51.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 300百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 △37百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	49.91	—
2019年3月期第3四半期	15.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,884	7,991	47.3
2019年3月期	16,240	7,741	47.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 7,991百万円 2019年3月期 7,741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	14,000	5.0	550	△21.8	600	△21.7	450	△26.8
								70.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) 関西電機工業株式会社、除外 1社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	6,416,046株	2019年3月期	6,416,046株
2020年3月期3Q	15,521株	2019年3月期	46,840株
2020年3月期3Q	6,371,727株	2019年3月期3Q	6,415,088株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、当社として実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、相次ぐ自然災害による一時的な経済への減速がみられたものの、雇用・所得環境の改善を背景に企業収益が底堅く、景気は穏やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦問題の長期化、英国のEU離脱問題、米イラン間の対立激化など不安定な国際政治情勢により、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループでは、受注高は主に石灰石輸送コンベヤ設備、商業施設向け立体駐車装置、メンテナンスにより9,762百万円（前年同四半期比29.0%増）となりました。太陽光発電設備の納入遅れはありましたが、プラント用コンベヤ設備、立体駐車装置の新規設備及びメンテナンスの納入が堅調であったことにより、売上高は8,522百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。損益面につきましては、コスト削減、経費の圧縮などに努めた結果、営業利益は412百万円（前年同四半期比307.4%増）、受取配当金、有価証券売却益等を加えた経常利益は497百万円（前年同四半期比232.9%増）となりました。特別損失として投資有価証券評価損等を計上しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は317百万円（前年同四半期比223.4%増）となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

〔コンベヤ関連〕

コンベヤ関連では、受注高は3,256百万円（前年同四半期比29.4%増）、石炭火力発電所及び土木工事中用関連のコンベヤ設備、保守部品の納入等がありましたが、売上高は3,148百万円（前年同四半期比4.8%減）、土木向け設備の採算改善によりセグメント利益は343百万円（前年同四半期比121.8%増）となりました。

〔立体駐車装置関連〕

立体駐車装置関連では、受注高は5,463百万円（前年同四半期比36.1%増）、メンテナンスは堅調に推移したことに加え、商業施設、マンション向けなどの新規設備納入により売上高は4,784百万円（前年同四半期比20.5%増）、保守工事の増加等によりセグメント利益は777百万円（前年同四半期比30.4%増）となりました。

〔情報サービス関連〕

情報サービス関連では、売上高は275百万円（前年同四半期比25.1%増）となりましたが、稼働率の悪化によりセグメント損失は9百万円（前年同四半期セグメント損失0.9百万円）となりました。

〔太陽光発電システム関連〕

太陽光発電システム関連では、受注高は766百万円（前年同四半期比6.2%減）デベロップ案件発電設備の納入の遅れにより売上高は314百万円（前年同四半期比57.5%減）、子会社株式取得費用、のれん償却費の発生により、セグメント損失は79百万円（前年同四半期セグメント損失18百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、連結子会社が増加したこともあり前連結会計年度末と比較して643百万円増加の16,884百万円となりました。主な内訳は、受取手形及び売掛金が1,282百万円減少しましたが、現金及び預金が229百万円、開発事業等支出金が704百万円、流動資産その他が333百万円、のれんが269百万円増加したことによるものです。負債は、前連結会計年度と比較して393百万円増加の8,892百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金が692百万円、短期借入金が300百万円減少しましたが前受金が381百万円、長期借入金が787百万円増加したことによるものです。純資産は、前連結会計年度と比較して250百万円増加の7,991百万円となりました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期利益の計上等により利益剰余金が254百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループをとりまく経済環境は、米国をはじめ世界経済の回復による好調な企業収益を背景として、雇用所得環境が改善するとともに、底堅い個人消費や設備投資の持ち直しにより穏やかな回復基調が続きました。このような環境下、コンベヤ設備及び太陽光発電設備の新設納入は第4四半期に回復する見込みであり、立体駐車装置の新設納入、メンテナンスも堅調に推移していることから、2019年5月15日発表の当期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,667,873	4,897,421
受取手形及び売掛金	5,098,341	3,816,135
仕掛品	646,038	809,078
開発事業等支出金	1,065,496	1,769,794
原材料及び貯蔵品	476,919	521,499
その他	793,874	1,127,242
貸倒引当金	△25,501	△17,380
流動資産合計	12,723,041	12,923,791
固定資産		
有形固定資産	667,977	845,807
無形固定資産		
のれん	-	269,177
その他	81,539	84,626
無形固定資産合計	81,539	353,804
投資その他の資産		
投資有価証券	2,142,685	2,137,359
その他	686,504	685,942
貸倒引当金	△60,908	△62,046
投資その他の資産合計	2,768,282	2,761,255
固定資産合計	3,517,798	3,960,868
資産合計	16,240,840	16,884,660
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,274,983	2,582,185
短期借入金	700,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	-	216,648
未払法人税等	124,985	137,636
前受金	1,818,960	2,200,699
賞与引当金	153,981	57,969
完成工事補償引当金	124,000	123,000
工事損失引当金	9,000	40,000
移転損失引当金	62,906	62,376
その他	582,809	450,787
流動負債合計	6,851,626	6,271,302
固定負債		
長期借入金	-	787,815
退職給付に係る負債	752,978	806,595
移転損失引当金	576,369	529,525
その他	318,196	497,681
固定負債合計	1,647,545	2,621,618
負債合計	8,499,171	8,892,920

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,800,000	3,800,000
資本剰余金	1,221,755	1,218,861
利益剰余金	2,177,972	2,432,275
自己株式	△23,835	△8,124
株主資本合計	7,175,893	7,443,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	578,137	561,087
土地再評価差額金	△12,361	△12,361
その他の包括利益累計額合計	565,775	548,726
純資産合計	7,741,668	7,991,739
負債純資産合計	16,240,840	16,884,660

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	8,236,462	8,522,581
売上原価	6,758,012	6,640,685
売上総利益	1,478,449	1,881,896
販売費及び一般管理費	1,377,170	1,469,277
営業利益	101,278	412,618
営業外収益		
受取利息	528	471
受取配当金	55,891	60,671
有価証券売却益	19,772	18,878
その他	17,561	20,523
営業外収益合計	93,754	100,545
営業外費用		
支払利息	14,307	4,148
有価証券売却損	18,634	4,991
その他	12,555	6,265
営業外費用合計	45,497	15,405
経常利益	149,535	497,758
特別損失		
固定資産廃棄損	1,897	513
投資有価証券評価損	18,989	30,502
事務所移転費用	19,329	-
特別損失合計	40,215	31,016
税金等調整前四半期純利益	109,319	466,742
法人税等	10,977	148,746
四半期純利益	98,342	317,995
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	98,342	317,995

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	98,342	317,995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△136,034	△17,049
その他の包括利益合計	△136,034	△17,049
四半期包括利益	△37,692	300,945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,692	300,945
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	コンベヤ 関連	立体駐車 装置関連	情報サービ ス関連	太陽光発電 システム関 連			
売上高							
外部顧客への売上高	3,306,465	3,971,393	219,941	738,662	8,236,462	—	8,236,462
セグメント間の内部売上 高又は振替高	157,293	44,436	77,731	—	279,461	△279,461	—
計	3,463,758	4,015,829	297,673	738,662	8,515,923	△279,461	8,236,462
セグメント利益又は損失(△)	155,027	596,381	△990	△18,947	731,470	△630,191	101,278

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△630,191千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

1. 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	コンベヤ 関連	立体駐車 装置関連	情報サービ ス関連	太陽光発電 システム関 連			
売上高							
外部顧客への売上高	3,148,781	4,784,421	275,108	314,269	8,522,581	—	8,522,581
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	11,221	—	11,221	△11,221	—
計	3,148,781	4,784,421	286,330	314,269	8,533,803	△11,221	8,522,581
セグメント利益又は損失(△)	343,848	777,682	△9,768	△79,025	1,032,738	△620,119	412,618

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△620,119千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 第1四半期連結会計期間より、「人材派遣関連」としていた報告セグメント情報を「情報サービス関連」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で記載しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、関西電機工業株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「太陽光発電システム関連」のセグメント資産が2,042,831千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「太陽光発電システム関連」セグメントにおいて、関西電機工業株式会社を連結の範囲に含めたことにより、当第3四半期連結累計期間において、のれんが269,177千円増加しております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

当社グループの管理部門については連結経営が進む中でグループ一体経営を目的とした機能としての意味合いが強くなったため、第1四半期連結会計期間より「コンベヤ関連」と「立体駐車装置関連」に配分しておりました管理部門の費用の一部について、セグメント利益の調整欄に「全社費用」として計上する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の測定方法に基づき作成したものを記載しております。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当事業年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
コンベヤ関連	3,148,781	△4.8
立体駐車装置関連	4,784,421	+20.5
人材派遣関連	275,108	+25.1
太陽光発電システム関連	314,269	△57.5
合計	8,522,581	+3.5

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 金額は、販売価格によっております。

3. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当事業年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
コンベヤ関連	3,256,570	+29.4	9,772,969	△15.9
立体駐車装置関連	5,463,887	+36.1	5,741,717	△2.9
人材派遣関連	275,108	+25.1	—	—
太陽光発電システム関連	766,692	△6.2	1,003,755	+38.3
合計	9,762,259	+29.0	16,518,442	△9.5

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。